

## 2022 年度 事業報告 (案)

全国科学館連携協議会（連携協）は、地域における科学技術普及の拠点である科学館等の連携促進を図り、科学館事業の振興に寄与することを目的として設立され、各種連携活動を展開しています。

2022 年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策を講じた活動としたため、前年同様事業内容の変更がありました。主な実施事業を以下に示します。

## 1. 協議会運営

## 1-1. 2022 年度加盟会員数

192 館 (2023 年 3 月 31 日現在)

内訳：正会員 171、協力会員 18、協賛会員 3

[新規加盟] (4 団体)

(正会員)

- ・四国西予ジオミュージアム
- ・星のふるさと星の文化館
- ・富山県立イタイイタイ病資料館

(協力会員)

- ・株式会社丹青社

[退会] (4 団体)

(正会員)

- ・たちばな天文台
- ・北陸電力エネルギー科学館
- ・佐賀市星空学習館

(協力会員)

- ・サイエンスシーズ

## 1-2. 会議の開催

## (1) 第 32 回全国科学館連携協議会幹事会

2022 年 5 月 25 日 (水) にオンライン形式で行い、次の事項を確認しました。

(出席：会長 1 名、副会長 2 名、監事 2 名、ブロック幹事 10 名(代理含む)、事務局 4 名)

[議事]

- ・2022 年度役員について
- ・2021 年度事業報告(案)および決算報告(案)について
- ・2022 年度事業計画(案)および予算計画(案)について

[審議]

- ・新規巡回展示物・データ提供展示物制作への支援特別枠について

## [協議]

- ・ポストコロナを踏まえた次年度以降の連携協事業について

## (2) 第32回全国科学館連携協議会総会

2022年6月24日(木)に日本科学未来館及びオンライン形式で行い、次の事項を確認しました。

## [議事]

- ・2022年度役員について
- ・2021年度事業報告(案)および決算報告(案)について
- ・2022年度事業計画(案)および予算計画(案)について  
(新規巡回展示物・データ提供展示物制作への支援特別枠について)

## [報告]

- ・ブロック活動報告
- ・巡回展示物助成事業報告

## 2. 加盟館連携推進

## 2-1. 巡回展示物等貸与支援

加盟館を対象に、下記23種類の巡回展示物および3種類の実験キットの募集を行い、2022年4月～2023年3月の期間で調整・貸出を行いました。

## [巡回展]

- ・ 新規 土からわかる防災のおはなし (5館) ※データ提供含む
- ・ 宇宙をさわる (8館)
- ・ はやぶさ2のミッションにチャレンジ! (8館)
- ・ かるたでよみとく わたしと世界のつながり (10館) ※データ提供含む
- ・ 環境DNA博士と、水辺の生き物を調査せよ! (2館) ※データ提供含む
- ・ 海と生きものとわたしたち ～3.11からの復興をめざして～ (4館) ※データ提供含む
- ・ 急変する北極が世界にもたらす影響と日本の北極研究の取組み—Our activity in the Arctic— (1館) ※データ提供
- ・ こちら「はやぶさ2」運用室 漫画版 (3館) ※データ提供含む
- ・ 金星探査機「あかつき」 (7館) ※データ提供含む
- ・ いのちってなに? (7館) ※データ提供含む
- ・ 星座展～ギリシャ神話からキトラ古墳まで～ (3館)
- ・ ケミカルパズル&ケミカルすごろく—化学物質と上手につきあおう— (0館)
- ・ 潜水調査船がみた深海生物 (5館)
- ・ 星の衝突で、何ができた? (6館) ※データ提供
- ・ SDGs (持続可能な開発目標)クイズボード (2館)
- ・ 日本の宇宙科学の歴史 (0館)

- ・ 62の「月」が織りなす多彩な世界—土星探査機「カッシーニ」が見た リングと衛星群— (2館) ※データ提供
- ・ 2014年ノーベル賞 (1館) ※データ提供
- ・ 2015年ノーベル賞 (0館) ※データ提供
- ・ 2016年ノーベル賞 (0館) ※データ提供
- ・ 2017年ノーベル賞 (1館) ※データ提供
- ・ 2018年ノーベル賞 (0館) ※データ提供
- ・ 2019年ノーベル賞 (1館) ※データ提供

延べ76館

[実験キット]

- ・ 実験キット「マッスル・センサー」 (3館)
- ・ 実験キット「超伝導」 (1館)
- ・ 実験キット「教育ブロック I Q KEY レーシングカー編」 (0館)

延べ4館

## 2-2. 事業への後援

加盟館および関係機関が実施する事業で、連携協の設立趣旨に合致する事業に対し、後援を行いました。

[後援] (5件)

- ・ 青少年のための科学の祭典2022 主催：公益財団法人日本科学技術振興財団
- ・ 2022サイエンスパーク 主催：北海道、北海道立総合研究機構
- ・ 千葉県科学フェスタ2022 主催：千葉県科学館
- ・ 静岡科学館企画展「大きくしてみた！～大きくすると見えてくる～」主催：静岡科学館
- ・ 第64回科学技術映像祭 主催：公益財団法人日本科学技術振興財団

## 2-3. ブロック会議の実施

ブロック会議開催にあたっては感染拡大防止の観点をつまみ、対面やオンライン、ハイブリッド開催など、ブロック内の状況を鑑みながら開催しました。

- ・ 北海道ブロック会議

開催日時：2022年11月8日(火) 14:30～16:30

開催方法：対面開催(会場：岩見沢市生涯学習センター いわなび)

参加：9館

- ・ 東北ブロック会議

開催日時：2023年1月26日(木) 10:00～14:45

開催方法：対面開催(仙台市科学館)及びオンライン

参加：19館

- ・北信越ブロック会議  
開催日時：2023年2月17日（金）14:00～16:00  
開催方法：オンライン開催  
参加：8館
- ・関東ブロック会議  
開催日時：2023年1月20日（木）15:00～17:00  
開催方法：オンライン開催  
参加：21館
- ・東海ブロック会議  
開催日時：2023年2月9日（木）13:00～15:30  
開催方法：対面開催（静岡科学館）及びオンライン開催  
参加：10館
- ・近畿ブロック会議  
開催日時：2023年2月7日（火）13:00～14:00  
開催方法：オンライン開催  
参加：10館
- ・中四国ブロック会議  
開催日時：2022年12月15日（木）12:50～16:30  
開催方法：オンライン開催  
参加：8館
- ・九州ブロック会議  
開催日時：2023年2月27日（木）13:00～18:00  
開催方法：対面開催（北九州市科学館スペース Labo）及びオンライン開催  
参加：10館

#### 2-4. 国内科学館研修

加盟館に共通する課題や活動成果について発表および協議し、加盟館の活動の一層の充実を図るため、国内科学館研修を実施しました。2022年度も前年同様新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンライン開催としました。

##### ① 第1回国内科学館研修

開催日時：2022年11月17日（木）15:00～16:30

開催方法：Zoom ウェビナー

参加者：約70名

テーマ：「日立シビックセンター科学館サクリエ オンライン視察」

主な内容：2021年4月にリニューアルした日立シビックセンター科学館サクリエ（茨城県日立市）の視察をオンラインで実施しました。リニューアルにあたっての工夫などを館のご担当者からご紹介し、展示コーナーをライブ中継したほか、チャットに寄せられた質問に担当者が回答しました。

## ② 第2回国内科学館研修

開催日時：2023年2月2日（木）15:00～16:15

開催方法：Zoom ウェビナー

参加者：約60名

テーマ：「TEPIA先端技術館 オンライン視察」

主な内容：2022年3月にリニューアルオープンしたTEPIA先端技術館（東京都港区）の視察をオンラインで実施しました。リニューアルにあたってのコンセプトや展示、アウトリーチ事業などをご紹介したほか、チャットに寄せられた質問に担当者が回答しました。

## 2-5. 海外科学館研修

新型コロナウイルス感染症の状況から海外渡航を伴う視察については中止とし、2021年度に加入したアジア太平洋地域科学館協会（ASPAC）との連携を活用し、オンラインでの研修機会（AMEL）を加盟館に提供したほか、トルコにて開催されたASPAC総会にて毛利会長による連携協の活動紹介を行いました。

## 2-6. 相互人材交流事業

各加盟館がもつノウハウやスキルを相互に学び合い、人材交流をきっかけに実施館同士が継続的かつ自発的な交流を図ることをねらいとして、希望館と事務局が調整を行う、短期人材交流の実施を検討いたしました。2022年度においても、新型コロナウイルス感染症の状況をふまえ、実施を見送ることを連絡しました。

## 2-7. 新規巡回展示物・データ提供展示物制作への支援

巡回展の更なる活性化を目指し、加盟館による巡回展示物制作を支援する活動として、新規巡回展示物・データ提供展示物制作支援の募集を行い、本募集・追加募集を合わせて以下の3件の課題を採択しました。2022年度については、加盟館からの希望が多い分野を対象とした特別枠を設定したほか、制作期間についても2023年12月までに延長し、新規巡回展示物・データ提供展示物の制作を促進しました。

- ・ 本募集→採択1件：家の中のおじゃま虫  
（徳島県立あすたむらんど子ども科学館・助成金200千円）
- ・ 追加募集→採択2件：
  - ①：可搬型精密日時計（奥州宇宙遊学館・助成金320千円）
  - ②：はやぶさ2のミッションにチャレンジ！（半田空の科学館・助成金485千円）

※合計1,005,000円について、執行予定額として2023年度繰り越し

### 3. 協賛事業

#### 3-1. 協賛物品等

加盟館に対して募集を実施し、下記企業より物品提供を行いました。

2022年度は新型コロナウイルス感染拡大状況からの回復を見込み、2021年度と比較して希望は増加しましたが、協賛企業のご厚意により希望数を提供しました。

- ・マブチモーター株式会社（モーター）：37館 6,780個提供

#### 3-2. 白川英樹博士特別実験教室全国展開事業

白川英樹博士と日本科学未来館が共同で開発した導電性プラスチックに関するオリジナル実験教室について、開催が延期となっていた以下の2テーマの実施館について、2022年度はそれぞれ旭化成株式会社、株式会社クレハの協賛を得て実施しました。

- ・「導電性プラスチックを作ろう！二次電池への応用」  
開催日：2022年11月6日（日）  
開催場所：京都市青少年科学センター（京都府京都市）  
主催：京都市青少年科学センター  
協賛：旭化成株式会社  
参加人数：18名
- ・「導電性プラスチックを作ろう！透明フィルムスピーカーへの応用」  
開催日：2022年12月18日（日）  
開催場所：大分大学（大分県大分市）  
主催：体験型子ども科学館 0-Labo  
協賛：株式会社クレハ  
参加人数：20名

以上